



11月15日(金)の合唱コンクールに向けて！

合唱が持つ最大の魅力は、やはり「たくさんの声が重なることで生まれる音色の美しさ」ではないでしょうか。一人一人の歌声は小さくても、たくさん集まって溶け合うことによって広がりや深みのある響きが生まれます。でも、たとえみんなが同じことを同時に歌っていても、それぞれがバラバラなことを考えていれば、美しい響きは生まれません。抽象的な言い方になりますが、大切なのは歌う人みんなが「気持ちを一つに揃える」ことです。楽しい曲ならその楽しさを、悲しい曲なら悲しい気分を、全員が一緒に感じて歌うことで、はじめて聴く人の心に響く歌になります。今年の合唱コンクールでも、クラスが一つになって合唱する素晴らしさを見せてください。大いに期待しています。そして、合唱では、次の二つのことができます。

* 合唱を通して「協調性」が身につきます！

他の人と気持ちを揃えるために必要なのは「協調性」です。合唱をやっていると、自然と周囲のメンバーと協力しようという気持ち、つまり協調性が芽生えてきます。この協調性は合唱という場だけではなく、これからの人生で、色々な場面で生きてきます。

* 協力して一つのものを表現する楽しさを味わえます！

中学生時代は部活や体育大会・合唱コンクールなど、人と協力して何かを行なう場面は沢山ありますが、大人になるにつれて、こういった機会は貴重になってきます。協力して一つの歌に取り組む合唱は、みんなで同じ気持ちを共有して、一つのものを表現する楽しさを味わえてくれます。全員の気持ちと声がぴたりと合い、美しいハーモニーができた時には、ぞくぞくするような興奮と感動が得られると思います。

英語技能検定を受験しました(3年生)！

9月27日(金)5・6限に、3年生が、田尻町立中学校を会場にして英語技能検定を受験しました。当日は、66名の3年生が2級から4級までに分かれて受験しました。どの生徒も真剣な表情で、粘り強く受験していました。数年前から、英検の資格を持っていると、高校受験で活用することができるようになってきています。良い結果が得られることを祈っています。



ニュージーランドの方々と交流(2年生)！

10月9日(水)に、2年生が、関西国際センターへ研修に来ているニュージーランドの方々と交流しました。この方々は、ニュージーランドで日本語を教えている教師で、日本の文化や日本語に精通しています。今回の交流授業は、英語と日本語を活用して、お互いの国や地域の文化などについて交流する目的で計画しました。

当日は、ニュージーランドの教師の方々から、自己紹介や自国の紹介などをパワーポイントを使って、わかりやすく説明していただき、続いて、田尻中学校の2年生が、事前にグループで作成したパワーポイントをもとにして、英語と日本語を交えて説明しました。素晴らしい発表に、ニュージーランドの方々が感動してくれ、日本のことをもっと好きになってくれました。



生徒会役員選挙が実施されました！

10月10日(木)から2週間のポスター掲示期間を経て、10月24日(木)に、令和6年度の田尻町立中学校生徒会役員選挙を実施しました。今年は、会長候補に3名、副会長候補に4名、書記候補に3名、会計候補に2名の合計12名の生徒が2年生から立候補してくれました。選挙当日には、体育館で全校生徒の前で立ち合い演説会を行った後、投票を行いました。立候補者全員が見事な演説をしてくださいました。3年生が、ここまで築き上げてくれた安心して暮らせる温かい田尻中学校を、2年生と1年生が引き継いでいってくれることを確信しました。



(校長 池本 勝利)

今後の予定

| | |
|----------|---|
| 11/5(火) | 【3年生】第3回学力診断テスト |
| 11/6(水) | 【2年生】思春期ふれあい学習 |
| 11/8(金) | 午前授業(教職員研修のため) |
| 11/15(金) | PTA 研修会(10:30~町教育センター) 作品展示(11:30~12:30) 合唱コンクール(13:00開始) |
| 11/20(水) | 【3年生】進路懇談会(~11/22(金)) 期末テスト 1週間前 |
| 11/27(水) | 期末テスト(~11/29(金)) |

PTAより ご参加、お待ちしております！

いつもお世話になります。
11月15日(金)10:30よりPTA 研修会を実施します。今回は、町教育委員会・水野参事より「たじり一貫教育」についてお話しいただきます。一貫校建設に向けた現状と今後について、ぜひ保護者のみなさまにも知っていただきたく存じます。

悩む力

今回は、国語の作文の授業で書かれた、中学生たちの作文を紹介します。タイトルは「悩む力」です。

人は、誰でも一度は悩むことがあると思う。自分自身、悩んだことは何度も経験している。それは陸上で記録が思うように伸びずに悩んだことだ。何度も何度も一人で悩み、いろんな解決方法を考え、自分がやっている種目をやめてしまうということも考えた。しかし、ひとりで何度も悩んだからこそ、今の自分があると思う。

悩みを相談することも一つの手段だが、一人で色んな事を考え、行動し、発言していく事が大切だと思う。また相談するのであれば、自分としっかり向き合って真剣に会話をする相手を見つけないといけない。だから、一人で悩むことが自分を強くしていく事だろう。

「勝てない」と思い始めたのは中学2年生の夏休みの頃だった。部活中はサボっているわけでもなく、自分なりに一生懸命やっているつもりだった。けれども「つもり」だったんだ、と気づいたときには、仲間はずでに上にいた。失敗を恐れ、周りの反応を見ながら部活をしていた。だけど、そんな自分が嫌いになり、何とかしてやろうと考えた。

そして、昔の自分は逃げていたんだなと思った。もっとかっこ悪く生きていいんだと思った。かっこつけて誰にも自分を理解してもらえず、そのことを他人のせいにする方がよっぽどつらい。かっこ悪く悩みを周りに打ち明ける勇気が大切だ。



人というのは、すぐ悩む。私も今までに、数えきれないほど悩んできた。友達のことや勉強のこと、習い事などたくさんあった。しかし、私はそれから逃げずに前へと進んだ。例えば、今年の夏は全国大会に出場することができなかった。予選会の日、私は悔しくてたまらなかった。その時に励まし、支えてくれたのが先生であり、友達であり、親だった。

次の日は、大阪の強化練習があり、正直、行きたくないと思う気持ちもあったが、早く切り替えなければ、という思いもあった。これは、悩みというよりも、つらいとか悔しいとかの経験かもしれないが、私はこれを踏み台にし、前へ前へと向かっている。

私は悩む力とは希望の光ではないかと思う。

何もかもがうまくいかない日々があった。毎日がつまらなく、いつも気持ちは、雲が何層にも重なり合っているようだった。全てがどうしてもよくて、全てを投げ出したかった。

そんな時、私の行動をずっと見てくれていた人に吐かれた。表面上、涙を流してその場をしのいだ。しかし、家に帰ってあれこれ考えていると、…心からの涙が出た。

全てを投げ出し、考えることをあきらめた私に、叱ることで救いの手を差し伸べてくれた先生。悩み続ける私に希望の光を与えてくれたのである。

…いかがでしょうか。

実は、これらの作文はすべてこの田尻中学校を巣立っていった先輩たちが残していった言葉です。改めて読み返してみると、中学生の時期はそれぞれに多くの悩みを抱えているという事がわかります。

そして、悩みに対する向き合い方も個々によって全く違います。

「自分のかっこ悪さを他人にさらけ出して相談する勇気が大切」と感じている生徒もいれば「一人で悩むことが自分を強くする」という意見もあります。



また、悩みの真ただ中にある自分が、親や先生など周りの大人に支えが大きな心の転機となり、前へ進むことができた人もいます。

「悩む力は希望の光」という表現からも、苦しんだ末にようやく光を見つけられたことを物語っています。

思春期は自分が大人に成長していく過程で、激しく心が揺れ動く時期です。それに伴って体調も不安定になることがあります。また、身体の成長も著しいため、それに心がついていけないこともあります。見た目は大人らしく見えても、中身はまだ幼く感じるのはこのためです。

中学生の時期は、部活動や友人関係、家族との関係に悩みを持つことが多くあります。特に、部活動は自分で選択して始めた活動です。活動当初は高い関心や意欲をもって頑張ります。それに伴っていい成果が得られたり、さらに上を目指して頑張ります。

しかし、途中で壁にぶつかったり、思うようにいなくなったりすることは当然あります。それは「今よりもさらに高いレベルを目指している」からであり、「よりよく生きようとする姿勢」が前提にあるからです。悩んでいる時期は本人にとってものすごく苦しく大変なものですが、「悩む力」が「自分を成長させる力」になるのは間違いないと思います。

(教頭 横井武志)